

拝啓 今年も早や 10 月末となりました。いつもエンカウンターをお読み頂きありがとうございます。近所の公園では、紅葉が始まりかけました。

今回も、「小西芳之助先生金曜会語録」からの引用の第 12 回目です。今回の部分は、昭和 40 年から 41 年頃金曜会に出席された時の話です。

今回の語録の中にも、感銘深い言葉がたくさん詰まっています。キリスト教は謙遜の宗教である、キリスト教は力である、と書かれていますが、確かに力であると思います。南原先生も、高木八尺先生も、晩年にはキリスト教は（生きる）力であると書いておられます。今回、津山土岐家財団の仕事を、たえず「わが主イエスよ、わが主イエスよ」と称名しながら進めましたが、神は力と感じました。真にその通りだと思います。

10 月 1 日、津山土岐家財団記念館の開所式を開きました。約 50 名人が参加して下さいました。集会所として広く利用されて、地元の人々に喜ばれる施設になって欲しいと思います。

10 月 11 日は、当主土岐隆の納骨式でまた津山に行きました。この時は、その他の仕事として、土岐隆の持っていた鉄道ファンと鉄道ジャーナルの 2 雑誌を年月順に整理しました。約 8000 冊あり、これをどこかの鉄道愛好家の図書館か博物館に寄付する仕事が大きな仕事として残っています。

10 月 18 日は、佐藤昭夫さん、西原賢太郎さんと山中湖そばの大平山ハイキングコースを歩いてきました。よく晴れていたさわやかな日でしたが、歩いている時は、富士山には少し雲がかかって隠れていました。ホテルマウント富士で入浴しましたが、夕方 4 時頃、お風呂からくっきり雲のとれた富士山が見え、右肩に日没前の太陽が輝いており、思わず「わが主イエスよ、わが主イエスよ」と、感謝の祈りが出ました。

小西先生の説教集『エペソ書講解説教』を横浜大気堂に印刷してもらって出版し、高円寺東教会におられた方などに送ることが出来ました。多くの人から、お礼の手紙やはがきが届いていますが、相当皆さんに喜ばれたようです。本当に小西先生の天からの伝道が行なわれています。

11 月 22 日は、建設省に同期入省の友人の辻光興君が亡くなり、葬儀がありました。同期生代表として弔辞を述べましたが、彼は 18 年もの長い間人工透析をやっていて、本人の長い闘病生活、ご家族の看病のことなどを考え、胸が詰まりました。

いつの間にかすっかり涼しい秋に変わりました。皆様もどうかお身体ご自愛のうえ、お過ごしください。

平成 27 年 10 月 25 日

エンカウターの読者各位

敬具

山口周三